



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2017.3.8 (No.2904)
週報 No. 31

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
会 長／川瀬康裕
会長エレクト／小出子恵出(クラブ奉仕A)
副 会 長／松永一義(クラブ奉仕B)
幹 事／関川 博
S A A／明田川賢一
会 計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:57名中39名
■先々週出席率:88.89%

【ゲスト】

・加茂商工会議所
業務指導課 課長 高畑 結城子 様

【先週のメイクアップ】

- [3.2] 見附RCへ
・山田富義さん、丸山行彦さん
- [3.2] 燕RCへ
・加藤紋次郎さん
- [3.3] 三條ローターアクトへ
・吉井直樹さん
- [3.7] 長岡RCへ
・川瀬康裕さん、関川 博さん
- [3.7] 三條北RCへ
・杉山幸英さん、丸山行彦さん



2016～2017年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

川瀬康裕 会長



皆さん今日は。加茂商工会議所業務指導課課長 高畑結城子様、本日はようこそいらっしゃいました。後程、卓話よろしくお願いたします。

降りましたね。昨日夕方、桜の木の枝に積もる白い雪が明りに照らされて満開の夜桜に見えました。今朝の本成寺を歩

いていると空気は冬ですが、境内の雪化粧には厳しさより、明るさと華やかさがありました。

私は小鼓を打ちます。冬は皮が乾燥して鳴りません。雨降りの湿気のある日の方がよく鳴ります。能では四拍子といって大鼓、小鼓、太鼓、笛の四つの楽器で囃します。小鼓と大鼓は馬の皮を桜の木でできた砂時計型の胴に張り付け、麻の紐で縦横に締めて打ち鳴らします。絹の組みひもで絞めたりゆるめたり、皮に息を吹きかけたり、皮に和紙を貼って湿らせたりして鳴るように工夫します。ちなみに小鼓の皮は50年から100年くらい使います。同じ馬の皮ですが大鼓は夏でも炭火で乾燥させて、ぎりぎり紐でしめて高いカーンという音色です。こちらは消耗品で10回以上も使えば稽古用になるということです。小鼓は「よーほー ポン」、大鼓は「いやーはー カン」という感じですね。

鳴らぬ鼓というと、宝生流には「綾鼓」という能があります。宴のうちに垣間見た美しい女御の姿に恋心をいだいた庭掃の老人が、鼓の音が鳴ったらもう一度姿を見せるという女

御の言葉を伝えられ、懸命に鼓を鳴らすが、綾が張られた鼓で鳴らず、老人は恨んで池に身を投げるといふ能 この能の後半は女御に取り付いた老人の霊が、女御を陰惨に責めるといふものです。「綾鼓」ではありませんが鳴らぬ鼓は心乗らぬものです。能楽堂は様々な工夫で一般の舞台より音は響きますが、そうでないところで打つと、なかなかうまくいきません。鳴るもならぬも初心のころは自分ではどうにもできませんでしたが、最近は少し調整できるようになりましたが、鳴っているつもりが全く鳴っていないとみじめな気持ちになります。趣味といふものは楽しみより苦しみの方が多様な気がします。

幹事報告

関川 博 幹事

◎田中ガバナー事務所より

「ガバナー月信 3月号発行のお知らせ」

「地区事務所固定化等に関する作業部会設置のお知らせ」

「2017-18年度ロータリー財団地区補助金の活用に係る申請受付について」 ※締切 2017年3月末日

◎三条東RCより

「次年度市内4RC会長幹事会のご案内」

日 時 3月27日(月) 18:00～

会 場 越前屋ホテル

◎地区米山記念奨学委員会より

「米山カウンセラー研修会のご案内」

日 時 4月8日(土)

受付・昼食 12:00～13:00

研修会 13:00～15:00

会 場 ホテルオークラ新潟 4階「白鳥」

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

加茂商工会議所 業務指導課長 高畑結城子様、卓話ありがとうございます。

関川 博さん

60周年式典もカウントダウンです。実行委員会、各委員会の労に感謝です。

本日は加茂商工会議所 高畑様、卓話よろしくお願ひします。

加賀美匡さん

人事異動が発令されて、4月から新潟支社 支社長となります。大変お世話になりました。新潟におりますので、「60周年」には参加させていただきます。後任にも引継ぐ予定ですので今後ともよろしくお願ひします。

石黒良行さん

渋谷さん、ひ孫のお誕生おめでとうございます。

野崎喜一郎さん

先日、新幹線に乗ったら元メンバー第四銀行の坂上さんにバッタリ会いました。燕三条駅まで楽しく時間を過ごしました。

成田秀雄さん

明日から水戸へ出張ですがせっかくの梅は見れそうもありません。残念です。

高畑さん、卓話ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

此の雪で季節が逆戻りした感じですが、60周年に向けての気持ちは後戻りしない様に頑張りましょう。

渡辺良一さん

加茂商工会議所 高畑課長、卓話よろしくお願ひ致します。

皆さん、やさしいお父さんなので大丈夫ですよ！

樺山 仁さん

久し振りの雪の日でした。春もすぐそこに来ている様です。

本日の卓話に期待して。

中條克俊さん

仕事で良い事がありました。

柳取崇之さん、五十嵐博宣さん、小出子恵出さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

吉井直樹さん、渋谷健一さん、 斎藤弘文さん、

小越憲泰さん、渡辺勝利さん、 高橋 司さん、

丸山行彦さん、杉山幸英さん、 松永一義さん、

伊藤寛一さん、明田川賢一さん、米山智哉さん、

斎藤真澄さん、五十嵐昭一さん、若槻八十彦さん、

木村文夫さん、船越良則さん、 宮本信秋さん

高畑結城子様、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

3月8日分 ¥ 31,000

今年度累計 ¥ 1,513,000

「卓 話」



加茂商工会議所 業務指導課 課長 高畑結城子 様

加茂商工会議所の会員数は平成7年1,425件をピークに年々減少し、現在は998件と約400件の減少、中でも市内の事業所は平成7年1,357件→873件(484件減)と大きく減少しています。

産業界も、地元購買率は平成22年/51.2%→平成25年/46.3%、製造品出荷額は平成3年/1,083億円→平成26年/682億円と厳しい状況が続いています。

加茂商工会議所では、平成23年度からにぎわいのあるまちづくりに向け、交流人口増加策に取り組んでいます。

有名な神社・仏閣、観光施設が無い中、加茂にしかないもの、他のマネではないものとして、「歴史と自然」をキーワードに、様々な取り組みを行ってきました。

平成24年には、「小京都加茂山古道 加茂歴史散策マップ」を発行し、加茂駅を起点に加茂山～下条川を加茂山古道と名づけ、往復約11キロメートルのモデルコースとを提案。毎年5月には加茂山古道ハイキングを開催し、年々参加者が増えています。参加者の約半数は市街から訪れた人達で、口コミによる広がりです。平成28年度は約600名が参加しました。



また、加茂山には戦国時代、加茂要害山城跡、剣ヶ峰砦跡、尾振山砦跡の三つの山城があり、現在も地形が残っていますが、市民にもあまり知られていません。「山城」というのは、丘陵上に築かれた、敵の侵入を防ぐ、戦いの時に利用される場所のことで、加茂市内には、中世の城館跡が22、その

うち山城が17、館が5、残されています。これらを観光資源にするため、城郭研究第一人者の協力のもと加茂山城鳥瞰復元図を作成し、加茂山には違った魅力があることをPRしています。(鳥瞰図参照)

もう一つ、加茂商工会議所が力を入れているテーマは「北越戊辰戦争と加茂の関わり」です。1868年5月21日、北越戊辰戦争で長岡城落城後、河井継之助を始めとする長岡藩や東軍諸藩(会津、米沢、桑名、村上、村松、上山)が加茂に集結し、長岡城奪還を帰すことを決めました。この「加茂軍議」は奥羽越列藩同盟が、一つになって戦争をすることになったきっかけであり、一度落城した城を奪還することは歴史的に珍しいことです。このことは、司馬遼太郎著「峠」に記されています。

当時、加茂は桑名藩の預り領で、侍が支配していない町でした。年貢の取り立てが無く、商人が自由に商売を営んでいたとのことです。信濃川から流れる加茂川を中心に水運の町としても栄え、様々なものの他、金と銀が集まり、両替商には御用金を必要とする藩士が集まったこと等から、加茂で軍議が開かれたと、河井継之助記念館稲川館長はおっしゃっています。

当所では昨年9月に書籍「越後戊辰戦争と加茂軍議」を河井継之助記念館 稲川明雄館長から執筆していただき発行し、歴史講演会も大好評でした。

今後も、加茂の隠れた歴史と魅力を発信する等、歴史を活かしたまちづくりに取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

加茂の歴史を 紐解いた一冊が
遂に完成

越後戊辰戦争と
加茂軍議

稲川明雄 著 加茂商工会議所 発行

抗戦か恭順か
奥羽越列藩同盟

9月10日
発行

【お買い求め・お問い合わせ先】
加茂商工会議所 〒959-1313
加茂市幸町2-2-4
TEL:0256-52-1740 FAX:0256-52-4100

加茂山城鳥瞰復元図

イラスト
監修・文 香川 元太郎
西ヶ谷 恭弘



加茂山城を東側より俯瞰した図で、現状遺構の上に建物を想像復元した。城郭は大きく①標高104mの要害山を中心とする本城（実城）。②標高109mの剣ヶ峰出城。③標高108mの尾振山出城からなる山城域。さらに城主・城代の館が置かれた④現在精養寺境内となっている谷間とが、広大な城郭域を形成する。精養寺門前の谷間北側から字根古屋・根子屋は、加茂山城普請にあつた武士団の集落（家臣団集落）で歴史用語の根小屋にあたる。

加茂山城の東門である大手口は、大手坂を登った所に本城域の出入口の白雲城虎口門があり、門の南側に⑤二曲輪、東側に⑥三曲輪が形成される。⑦の上は加茂山城の中心「実城」が建える。実城地域は「詰の城」である山城を意味する「要害山」と呼ばれる。要害山である本城域の約450m西側、峰続きには数条の堤切が穿たれて、②剣ヶ峰出城が構えられ、さらに約150mの峰続きには、

③尾振山出城が構えられる。剣ヶ峰出城には青海神社背後から、⑧釜形を経て登る登城坂があり、また③尾振山出城からは図右上方方向に至る東勝手坂があり、図左側には長福寺方面に延びる西勝手道があった。

④館址の精養寺には⑨小滝があり水の手曲輪を形成。釜の背後から⑩登城坂をもって実城である要害山と結ばれていた。⑤の家臣団集落の根小屋集落の生活を支えるため、根台段の西側、加茂川に平行して青海神社前から商家・町屋からなる宿が形成。物資は陸路のほか加茂川を利用した水運が支えた。

なお、描かれている加茂山城の建物および構などは、加茂山城と繋がり深い村上要害などを描いた国重文指定「越後国瀬波郡絵図」を参考に決定した。

次週例会 3月22日 クラブ休会

次々週例会 3月29日 「PETS報告」 小出子恵出 会長エレクト

